

オランダオリンピック委員会・スポーツ連合(NOC*NSF)との 連携協定覚書を締結

2016年9月9日(金)、ブラジル・リオデジャネイロの「Toyko 2020 JAPAN HOUSE」において、日本スポーツ振興センター(JSC)は、オランダオリンピック委員会・スポーツ連合(NOC*NSF)と連携協定覚書(MOU)を締結しました。2015年11月に安倍晋三、マルク・ルッテ両首相は日本とオランダの戦略的パートナーシップの共同声明を公表しました。第19項には「スポーツにおける連携を深める」ことが明示されています。これらに基づき、JSCとNOC*NSFは、スポーツにおける連携の具現化を図り、両国のスポーツの発展に貢献するための様々な活動を推進していくこととしています。

調印式には NOC*NSF から Andre Bolhuis 会長をはじめ、Rita Van Driel パラリンピック委員会事務局長、Maurits Hendriks 選手団長、Raymon Blondel 理事、JSC から高谷吉也理事、勝田隆部長、久木留毅部長らが出席しました。また、東京2020組織委員会から、佐藤広副事務総長にも参列いただきました。

今後、両組織はグラスルーツスポーツからハイパフォーマンススポーツまで、障がい者スポーツ、オリンピック・パラリンピックの融合を含む幅広い領域で連携を促進し、東京2020大会に向けて、またそれ以降を見据えた戦略的な連携活動を推進していくこととしています。

【高谷吉也理事 コメント】

本日、リオパラリンピック大会期間中に両組織の連携協定を締結できることを大変うれしく思います。これまでの交流や情報共有を通してお互いに理解を深め両組織が真のパートナーとして多様な領域でスポーツにおける連携を推進することができるかと確信しています。

【Andre Bolhuis 会長 コメント】

我々は JSC と NPC*NSF の連携協定締結を大変喜ばしく思っております。東京2020大会まで4年を切り、この相互理解は我々の友好関係を強化し、両国のオリンピック・パラリンピックムーブメントの発展を支援することになるでしょう。エリートスポーツと、障がい者スポーツを含めたグラスルーツスポーツにおいて連携をしていくことを楽しみにしております。

